

👶 子どもをかわいく思えない

★上の子がかわいくない。この子さえいなければ。

下の子が生まれてから急にやりにくくなった。くずったり、すねたり、甘えたり。おまけに下の子をいじめてばかり。二人になって大変なのに。「いいかげんにして!」「もう、おまえなんかいらない!」と一日中どなってばかり。この子さえいなければ…。

下が生まれると上の子はやりにくくなりますね。今まで自分だけのものだったお母さんが、赤ちゃんに取られてしまってとまどっているのでしょう。下が生まれると上の子がずいぶん大きく見えて、まだ“ほんの小さな子ども”であることを忘れてしまいがちです。上の子ばかり叱ってしまうと、余計赤ちゃんが憎くなってやりにくさが倍増。お兄ちゃん扱いせず双子のつもりで育ててみましょう。



★私になつかない。気にいらぬことばかりする。私に恥をかかせる。

パパやおばあちゃんばかりになつく。どんなに叱られても「ごめんなさい」と言わない頑固な子。爪をかんだり、唇をチュウチュウ吸ったり変な癖、どんなに叱ってもやめぬ。外へ出ると、友達に乱暴して気まずいおもい。スーパーで商品をさわったり食べたり、私に恥をかかせることばかり。この子のせいで夫や姑に叱られる。

子どもが一旦やりにくくなると、それがどんどんひどくなる事があります。まるで母と子がボタンをかけちがえたように、一つかけ違うとすべてにずれていきます。そんな時お母さんは、何度かそのかけ違いを直そうと叱るのをひかえたり、やさしくしたり…。でも子どもはその努力にどうこたえていいかわからず、泣いたり、くずったり暴れたり…。こうなるとお母さんもまた叱ってしまい悪循環は続きます。

お母さんはやりにくい子ども・イメージに合わない子どもを目の前にすると、それが全て自分のせいのように思えてイライラしがちです。これが続くと、母と子が反応しすぎて疲れてしまいます。こういう時は子どもと一旦離れることをおすすめします。離れることで、あなたも子どもも落ち着きを取り戻し、お互い違った面が見えてくるでしょう。パパにまかせるのもよし、おばあちゃんにあずけるのもよし、思い切って相談機関の利用もおすすめします。



👶 子どもを育てていると、自分の子ども時代とだぶってしまう

泣いているわが子を見て「私はほとんどだっこなんかしてもらえなかった
この子はこんなにだっこしているのに泣くなんて」と腹がたつ。
叩かれて育ったつらい思い出。わが子だけは叩かないで育てようと思ったのに…。
いつも一人ぼっちだった私。いつも忙しい母は話しかけてもうわの空。いつのまにか人に甘えることをしなくなった私。
わが子にだけはそんな思いをさせまいと専業主婦をえらんだのに、なぜかイライラする。
わが子の中に、子どものころのいやな自分を発見するとすごくイライラする。

つらい子ども時代を
送ったあなた

子どもだけはしあわせにしたいと願うあまり、「しあわせなイメージ」からはずれた子どもの姿はたえられなくて、口うるさく叱ってしまうのですね。

さびしい思いをしたあなた

子どもがさびしくないようにと、いつもいつも一緒にいて疲れきってしまうのですね。

たたかれないやな
思い出のあるあなた

たたかないように、とらないように必死でがんばっているのに、わがままばかり言う子どもに「どうして？」と腹がたってしまうのですね。

きつく叱られて
育ったあなた

相手が不きげんになることを恐れるあまり、子どもが泣いたりくずったりすると、責められているような気がするのですね。

がんばればがんばるほど、どうしていいのかわからなくなって泣きたくなることもあるのでしょうか。
どのお母さんも子育てをしながら迷っています。悩んでいます。

そして子ども時代の自分とわが子がかさなるとき、どうしても育児が極端になりがちで、
小さなギャングに腹をたてどなることもあるでしょう。手が出ることもあるでしょう。でもだいじょうぶ。
子どもを「しあわせにしたい」と願う気持ちが少しでもあれば、きつく叱った後に少しやさしくなれるはず。

それで充分。そんなマイナスのお母さんとプラスのお母さんがいてあたりまえ。

子どもがおとなになったとき、「お母さんは必死で育ててくれたのだ」と感じられたら、
自分を生んで育ててくれたあなたにきつと感謝することでしょう。